

# 61 コンティニ 『モードの5000年』

Contini, Mila. 5000 anni di moda. Milano, Arnoldo Mondadori, (1965) 1977. 167p. with illus. 30.0×20.7cm <383. 1-C>

著者のコンティニは現役のイタリアのジャーナリストで、ファッション雑誌『Grazia』『Marie Claire』『Personalità』の編集長であり、国際家庭婦人ジャーナリスト協会の会長も務めている。

彼女の豊かな感受性と精緻さを込めた本書は、1965年に初版がミラノのアーノルド・モンダドリ社から出版され、同年にはパリのアシュエット社からフランス語版も刊行された。5000 ans d'élégance; de l'antiquité égyptienne à nos jours <383. 1-C> がそれで、国立美術館講師のA. フォシェ＝アンリオンが仏訳し、服飾資料センター副会長のイヴォンヌ・デランドル女史が監修、パリ縫製組合名誉会長ジャック・エイムが序文を記している。また、英語版も同じ年にロンドンのポール・ハムリン社より刊行されており Fashion; from ancient Egypt to the present day <383. 1-C> がそれである。英語版の編集はジェムズ・レイバー、序文は原書の英訳であり、更にロンドン王立美術学校服飾科教授ジュニー・アイアンサイドが緒言を記している。この英語版の和訳版は1971年に講談社から出版された。『ファッション；古代エジプトから現代まで』<383. 1-C>がこれで伊東達也監修、伊藤永子訳となっている。こうして三か国語に翻訳された初版のイタリア語の原書は入手できないため、1977年発行のイタリア語版に基づいて解題する。

1965年版に比べて大分簡潔に編集されたと思われる本書は、古代エジプト (B.C. 3100年ごろ) から1975年までの5000年に及ぶ服飾の流行を豊富な図版を駆使して時代別に展望している。序文は、イタリアの服飾デザイナーのエミリオ・プッチ伯爵による。彼は「私にとってモードとは歴史的な一定の時間の意味するものの展望であり、コンティニがここに提供した知的な興味ある記録は、正にそこに到達しうるものである。」と述べている。使用された多くの図版は、古代の遺物、壁画、彫像、モザイク、中世の彩飾写本、絵画、16世紀の肖像画、織物、レース、刺繍、17世紀の版画、18世紀のファッション・プレート、宝石、19世紀の風刺画、20世紀のファッション雑誌、ファッション・イラスト、そして現代のデザイナーによる作品を基にしている。今日では有史以前の人々の生活は、残された宝石や装身具でしか伺い知ることができないが、流行はエジプトで咲き、そしてクレタ島からペロポネソス、ローマからビザンチンへと発展し、中世では流行は多くの大聖堂に映し出された。ルネサンスにおいては豪華の頂点に達し、日の没することなきスペイン王朝の下では、豪華<sup>けんらん</sup>絢爛たる様相を示し、やがて流行の灯はフランス人の手に引き継がれ、世界中に広まり、今日のユニセクスの服飾流行へと移行した過程をジャーナリスティックな筆致で描写している。(内野)